

北海道の白樺をアップサイクル 数量限定の「白樺染めフライトタグキーホルダー」、機内販売を開始 ～地域を結ぶ、空の記憶。～



北海道エアシステム(以下、「HAC」)は、2025年11月15日(土)よりHAC機内にて、「白樺染めの生地を用いたオリジナルフライトタグキーホルダー(以下、「本商品」)」を数量限定で販売します。

本商品は、鹿児島県のパタンナーである四元氏が手掛けたデザインをもとに、北海道にて1948年に創業した悉皆屋「野口染舗」が、北海道に多く生育している白樺を原料に染め上げた、まさに“地域を結ぶ”フライトタグです。北海道には多くの白樺が生育していますが、間伐の過程で枝や葉のほとんどが廃棄されています。その廃材となった枝・葉・樹皮から抽出される染料を使って絞り模様を加えた、北海道らしい商品です。

このフライトタグキーホルダーをきっかけに、初めて北海道を訪れる方や、初めてHACをご利用されるお客さまとの出会いを、心より楽しみにしております。雄大な自然と動物が共存する北海道の魅力を感じながら、HACの空の旅をより思い出深いものにしてください。

■機内販売概要

商 品 名:HACオリジナル白樺染め生地を使用したフライトタグキーホルダー

販売期間:2025年11月15日(土)～2026年1月31日(土)
※売り切れ次第終了

販 売 数:限定1,000個(お一人様3個まで購入可)

販売場所:HAC運航路線全便

販売価格:2,000円(税込) ※現金のみ



■デザインのポイント

1. 隠れたラッキーライラック(空の面)

空の面には、飛行機と柄を繊細に表現するため、特別仕様の光沢のある全10色の糸を使い分け、レピア刺繍が施されています。表面いっぱいに広がる幻想的なライラックの花びらと、エゾリスが顔をのぞかせる可愛らしいデザインです。ライラックの花言葉には「思い出」や「友情」という意味があります。家族や友人と過ごす楽しい思い出や、機窓から眺める美しい自然など空の記憶を、HACと共に紡いでほしいという想いを込めました。どこかにラッキーライラック(5枚の花びら)が隠れているので、探してみてください。

2. 白樺染め生地(大地の面)

白樺染め生地(綿100%)は素材ごとに異なる色合いが生まれ、一つ一つ異なる表情を持つ、唯一無二の白樺染め生地です。その生地に原料となった白樺の林をモチーフとした刺繍を施し、繊細で温もりある表現に仕上げました。

■株式会社M4210

住所: 鹿児島県鹿児島市中山町5203-1

代表取締役: 四元 麻理 氏

鹿児島を拠点に活動するアパレル・雑貨のメーカー。

国内ブランドで培った技術とネットワークを活かし、オリジナルグッズやアパレル商品の企画・デザイン、製造までを一貫して手がけています。また、地元の学生との共同開発・学びを通じ、次世代の人材育成に取り組み、地域に根ざした“ものづくりの輪”を広げています。



2025年5月には、鹿児島を拠点とする日本エアコミューター株式会社(JAC)で発売した、鹿児島の伝統工芸品である大島紬を使用したフライトタグキーホルダーを手がけました。JALグループでのご縁をきっかけに、今回新しく本商品の企画が実現しました。テーマは「地域を結ぶ、空の記憶。」とし、以下の4つのコンセプトをもとに製作しています。

(1) 北海道の自然 (2) 1点物の価値 (3) 五感に響く (4) HACと紡ぐ

■株式会社野口染舗

住所: 札幌市白石区菊水8条2丁目2-9

取締役 室長: 野口 繁太郎 氏

1948年の創業以来、悉皆屋として着物の仕立て直しや染め直しを行ってきました。その技術と経験を受け継いだ5代目・野口繁太郎氏が確立したのが、北海道の自然素材を原料とする天然染めブランド「BetulaN(ベチュラン)」です。代表的な白樺染めは、枝・葉・樹皮を自ら選別・乾燥させ、丁寧に色を抽出することで、自然本来の生命力を感じる布へと仕上げています。



以上